

## 着ぐるみ使用上の注意事項

### ※着ぐるみの使用前に必ずお読みください

#### 【申請者】

- 着ぐるみの運搬および装着の一切は、申請者の責任において行うこと。
- 着ぐるみ借用期間中に起きた事象の全ては、申請者がその責任を負うこと。
- 注意事項を熟読し、きちんと管理すること。
- 着用・着脱の際は、関係者以外に目撃されないように控室を確保すること。（特に子どもの前では注意すること）
- 雨天時および降雪時において、屋外での利用は絶対にしないこと。
- 着用者は膝が曲がらないので段差を一人で上がれません。ステージ上に出したい場合は、階段は観客から見えな  
い位置に設置するか、可能ならスロープを設置するなど工夫をすること。
- 着ぐるみは、破損や汚れないよう、細心の注意をもって取り扱うこと。
- 着ぐるみを汚損・き損・亡失した場合、市の指示に従って損害賠償、補修又はクリーニング等の原状回復にかかる  
費用を負担すること。

#### 【着用者】

- 汗で着ぐるみを汚さないように長袖シャツ、長ズボン、靴下を必ず着用し、肌の露出を抑えること。
- 着ぐるみは動きが制限される他、感覚も鈍くなるため、動きやすい服装をすること。
- 額などから汗が流れても、自分で拭うことができないため、必要に応じて額にタオルやバンダナを巻くなどして対応を  
すること。
- 着ぐるみの着用・着脱は1人ではできないため、必ず複数名で着用・着脱を行うこと。
- とにかく転倒しないよう、急がずゆっくり細心の注意を払って移動すること。
- 着用中は、人前で発声しないこと。やむを得ず声を出す必要がある場合は、関係者以外に聞こえないよう細心の  
注意を払うこと。控室に戻りたい意思表示の合図などを事前に決めておくこと。
- 長時間のイベント等において、30分を目安に休憩や着用者の交代を行うこと。
- 水分補給と十分な休憩時間を確保し、熱中症、疲労の蓄積に充分注意すること。

#### 【補助員】

- 着用者の歩行は常に危険が伴うため、常に着用者と周囲に声がけをしながら歩行の補助をすること。  
声がけの例  
▶エッサくん通ります ▶エッサくん右に曲がります ▶エッサくん止まります ▶エッサくん帰ります ▶優しく触ってね  
▶ここだと危ないから移動するよ。ついてきてね ▶次の方で最後です
- 着用者は視界が狭く、柱や足下（配線コードや段ボールなど）にある障害物、進行方向の目視確認ができない  
ため、口頭で注意・指示を行い、優しく手を引いて誘導を行うこと。
- 特に段差があるところでは、着用者は膝が曲がらないので、左右から支えて補助すること。
- 特に、子どもがいる空間では、引っ張ったり体当たりをしてくる可能性があるため、補助員は周囲をよく見て優しく注  
意をするなど対応をすること。
- 停止する際は、通路を塞がないよう、スペースが確保できる空間で止まる指示を出すこと。子どもが集まってきて、  
声がけをしながら広いところまで移動すること。
- 着用者は短い時間でも体力を消耗するため、時間管理をしっかり行い、着用者の体調に気を配ること。
- グリーティングを行う場合は、時間を常に意識し、控室に戻る時間になったら強制的に終了するなど、グリーティング  
の進行全体を補助員が管理すること。

## あらエッサくん着ぐるみの使用上の注意

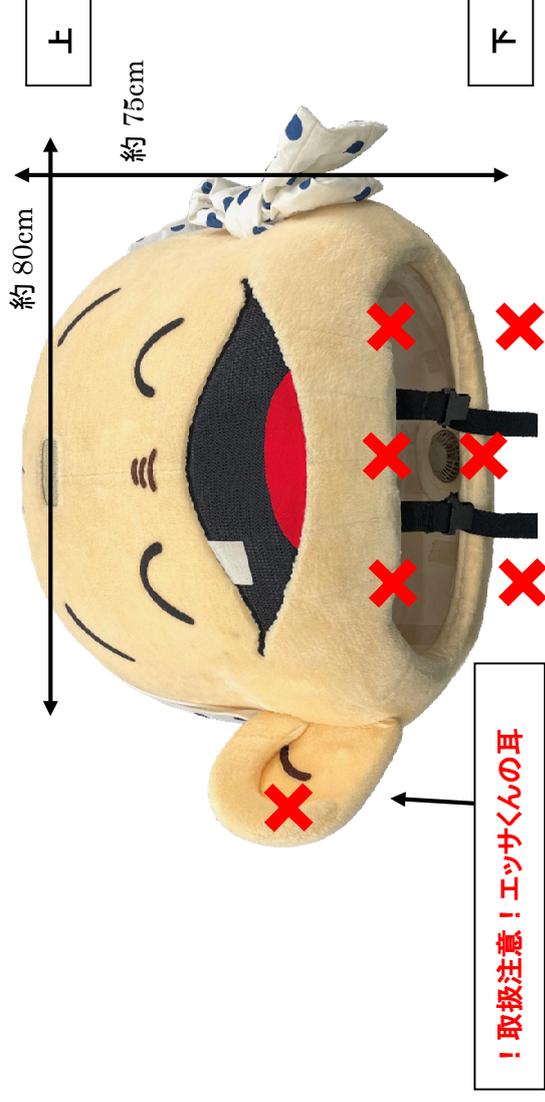
### 【 頭部の取り扱いについて 】

- ・ **×** の部分は壊れやすいので、絶対に持たないこと
  - ・ エッサくんの耳は壊れやすいので、耳を下にしたり、耳のそばに荷物を置かないこと
- !** 頭頂部を上にして保管、運搬すること

**!** 運搬の際、着ぐるみ頭部の上に荷物等を置かないこと

※頭部が変形する恐れがあります

**!** 雨天時は使用しないこと



### 【 保管方法 】

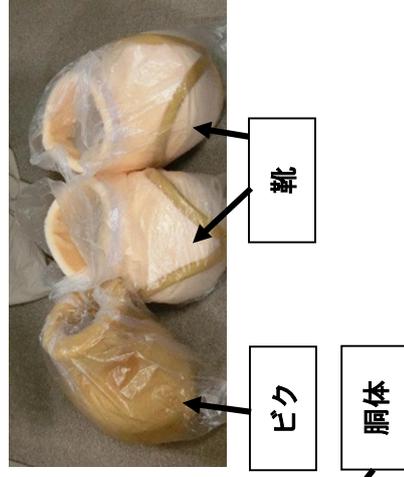
袋① エッサくんの頭のみを入れる

※頭頂部を上にしてしまうこと



袋② エッサくんの胴体にビク、靴を入れる

※ビクは胴体から外すこと



**!! 注意!!**

頭を逆さに置かないでください



**!** 着ぐるみが汚損・破損・変形した場合、修理費(それにかかる送料等、諸経費も含む)は、全額借主様に請求します。